

シンポジウム 参加費無料（事前申し込み制） 定員 100名

公私で支える高齢者の地域生活

自律的な経済活動は生活を営む上でとても大切なことですが、地域には認知症などにより判断能力が低下した人とともに、判断能力に不安を感じる人が多数生活しており、これらの人々は経済活動に不安を抱えています。経済活動を守る制度である成年後見制度は、事後的に典型的、画一的な支援を行うものですが、一方で、事前の支援を含むより総合的な意思決定支援の体制づくりもまた必要とされています。本シンポジウムでは、認知症の人さらには判断能力に不安を感じる人の生活を公的・私的に支えていくために、医療、法律、情報の視点から高齢者の地域生活を支えていくための方法について提案します。

基調講演

『高齢消費者保護の取り組み』

一般社団法人シニア消費者見守り倶楽部 岩田 美奈子

話題提供

『現代民法と消費者法の課題』

中央大学法学部教授 小賀野 晶一

『認知症の人の経済活動を支えるためにできること～医学的視点から～』

京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学教授 成本 迅

パネリスト

吉富 康成（京都府立大学）

『認知症・高齢者の経済活動のリスク検知』

角谷 快彦（広島大学）

『認知症と経済』

日時 平成30年

10/31 (水)

13:30～16:30

(開場13:00～)

場所

中央大学駿河台記念館670室 (JR総武線・中央線御茶ノ水駅 徒歩3分)
東京都千代田区神田駿河台3丁目1-5

参加費無料

(事前申し込み制) 定員100名

主催：「高齢者の安全で自律的な経済活動を見守る社会的ネットワークの構築」プロジェクト <http://ppmelt.com/>

(科学技術振興機構社会技術研究開発センター (RISTEX) 「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」研究開発領域)

お問合せ： 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学 E-mail ppmelt@koto.kpu-m.ac.jp (担当 岡本)

【お申込み方法】

E-mailで必要事項をご記入の上お申込み下さい。お申込み多数の場合、会場定員（100名）に達した時点で申し込みを締め切らせて頂きますので、予めご了承下さい。

<記載事項>

①お名前 ②年齢 ③性別 ④ご住所 ⑤電話番号 ⑥ご所属・役職

<E-mail送信先>

京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

E-mail: ppmelt@koto.kpu-m.ac.jp 担当 岡本

● 駿河台記念館へのアクセス



- JR中央・総武線 御茶ノ水駅下車、徒歩約3分
- 東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅下車、徒歩約6分
- 東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅下車（B1出口）、徒歩約3分
- 都営地下鉄新宿線 小川町駅下車（B5出口）、徒歩約5分